

ふるさと 鬼北の風景 No.11

写真 / 柳野治示氏、山崎武雄氏



↑東仲の県道脇におよそ30mにわたって咲き誇る芝桜。赤、白、紫、ピンクと見事なグラデーション。㊸



←4月下旬から5月上旬にかけて町内で田植えがピークを迎えています。早期米の「コシヒカリ」が主流となっています。㊸



↑鬼北総合公園にはつつじと芝桜が満開。ゴールデンウィークには家族連れで賑わいました。㊸



↑4月29日に行われた地藏山（標高1,096m）登山の参加者の皆さん。新鮮な空気と素晴らしい景色を堪能しました。㊸



↑町花のつつじが国道320号沿い（川上地区）を彩り、ドライバーの目を楽しませています。㊸



↑父野川地区で撮影された藤の花。花言葉のとおり、町内各地で満開に咲いた藤の花がゴールデンウィークに町外から訪れた人たちを歓迎したようです。㊸



←宇和島市遊子地区のだんだん祭りに出演した愛治ちんどんクラブの皆さん。平成8年には全日本素人ちんどんコンクールで最優秀グランプリを獲得し、町内に限らず、町外のイベントへも積極的に参加するなど精力的な活動をされています。㊸



←鯉のぼりは、中国の登竜門の伝説をなぞらえて江戸時代から始まったとされ、子どもの健やかな成長、出世を願い端午の節句の日に揚げられています。写真は、広見川の上を優雅に泳ぐ小松地区の鯉のぼりです。㊸